

教科名	国語	科目名	論理国語	履修学年	中学 高校	2 年	全 組		
単位数	2	使用教科書 補助教材等	三省堂 『 精選 論理国語』						
担当者	関沢 小林 奥原		三省堂 『 精選 論理国語』学習課題ノート セレクト 漢字検定5 級ー2 級 確認と演習						
学習目標	・ 文章の意図を確実に理解することにより、様々な立場から世界を見て、自分の考えを持つことができる。 ・ 自分の思考を言葉にして、相手に伝えることができる。 2 年次は特に抽象度の高い文章の内容把握ができることを目標とする。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	主張と論拠など事柄同士の関係について理解することができる。言葉の意味を適切に理解し、自分の表現活動に活かすことができる。		「書くこと」：自分の考えが、状況に合わせて的確に伝わるように表現を工夫している。また表現することにより思索を深めている。 「読むこと」：内容や構成、論理の展開についての確にとらえ主張や主題・要点を理解することができる。		各単元において、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤できる。				
各観点の授業内 評価方法等	定期考査				①単元終了時の「研究課題」 ②振り返りシート 等を用いた自己研鑽				
	平素の小テスト・課題・提出物等								
	到達度確認テスト								
	※各観点における評価方法は、横断的に実施することがある。								
学期末の 各観点比率(%)	40%		40%		20%				
授業計画									
学 期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時 間 数	評 価 区 分 1	評 価 区 分 2
1	4	『 論理力と 思考力』野矢茂樹 『 納得の構造』渡辺雅子 『 ネット上の発言の劣化について』内田樹 学びを広げる 中身当てクイズ 佐藤雅彦(考査後)					3 3 3 1	中 間 考 査	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現
	5	中間考査					10		
	6	『 世代間倫理としての環境倫理学』加藤尚武 『 人類による 環境への影響』鷺谷いづみ 学びを広げる 環境問題について考える 要約と複数テキスト 問題の解法					3 4 2 3	期 末 考 査	
		7	期末考査						
	8								
	2	9	『 記号を使う 動物』池上嘉彦 『 動的平衡』福岡伸一 『 ゲノム編集とiPS細胞』山中伸弥					3 4 3	
10		中間考査					10		
11		『 ミロのヴィーナス』清岡卓行 『 空白の意味』原研哉 コラムを読む 美術作品を紹介しよう					4 3 3 2	期 末 考 査	
		12	期末考査						12
12		要約と複数テキスト 問題の解法					2		
3	1	『 「なぜ」に答えられない科学』池内了 『 「である」ことと「する」こと』丸山真男 国政選挙における年代別投票率について・グラフの読み取り					4 4 2	学 年 末 考 査	
	2	学年末考査					10		
	3	※単元・作品に応じて、+αの教材を用いて、演習を行う。 ※到達度・進捗状況等により、教材・取り扱う内容の変更の可能性がある。							

教科名	国語	科目名	文学国語	履修学年	中学 高校	2 年	1・3・6 組	
単位数	2	使用教科書 補助教材等	三省堂 『精選 文学国語』					
担当者	奥原		三省堂 『精選 文学国語』学習課題ノート					
学習目標	・ 場面ごとの登場人物の心情を正確に読み取り、物語のテーマについて考えることができる。 ・ 物語の構造をとらえ、テキスト 分析の手法を身につけることによって、論理的に物語を解釈することができる。 ・ 説明やプレゼンテーションにおいて、物語の構造や効果をふまえて相手に伝わるように構成できる。							
評価方法								
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	物語の構造、視点や象徴などの分析の観点について理解する。 場面の転換点を把握し、それぞれの場面において、「できごと・会話→感情の動き→行動」という流れを把握する。		「書くこと」：物語のプロットを抜き出すことで、要点を押さえて要約する。テキスト内の記述に基づきながら物語を解釈し、表現する。 「読むこと」：視点、場面の転換、表現の特徴など、効果的に用いられている仕掛けに気づき、その効果を説明することができる。		各単元において、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤できる。			
各観点の授業内 評価方法等	定期考査				単元終了時の「研究課題」 振り返りシート 等を用いた自己の研鑽			
	平素の小テスト・課題・提出物等							
	到達度確認テスト							
	※各観点における評価方法は、横断的に実施することがある。							
学期末の 各観点比率(%)	40%		40%		20%			
授業計画								
学 期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等				時 間 数	評 価 区 分 1	評 価 区 分 2
1	4	テキスト 分析の手法(物語の構造、分析の観点) 「 夜中の汽笛について、あるいは物語の効用について」 村上春樹 「 少年という 名前のメカ」 松田青子				3 4 1 9	中 間 考 査	研 究 課 題 ①
	5	中間考査						
	6	「 お砂糖とスパイスと 爆発的な何か」 北村紗衣 「 山月記」 中島敦／「 人虎伝」		3 4 3 10 2	期 末 考 査			
	7	期末考査						
	8							
2	9	「 ありときりぎりす」 佐野洋子／「 セミ とアリ」 「 ひよこの眼」 山田詠美		10 4		中 間 考 査	研 究 課 題 ②	
	10	中間考査						
	11	詩・ 短歌・ 歌詞		3 1 2 10 2	期 末 考 査			
	12	期末考査						
3	1	「 こころ」 夏目漱石 問題演習		2 4 2 3 11		実 習 課 題		
	2							
		学年末考査						
	3	※単元・ 作品に応じて、+αの教材を用いて、演習を行う。 ※到達度・ 進捗状況等により、教材・ 取り 扱う 内容の変更の可能性ある。						

教科名	国語	科目名	文系総合国語	履修学年	中学 高校	2 年	1, 3, 6 組		
単位数	1	使用教科書 補助教材等	桐原書店「読解力を鍛える現代文演習／標準」（問題集）						
担当者	関沢由紀子		桐原書店「新演習 現代文アチーブ4 三訂版」（問題集）						
学習目標	問題演習を通して、国公立大学の記述式解答の作成方法や、共通テスト・私大入試の選択問題の解法を身につける。								
評価方法									
評価観点	知識・技能			思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	主張と論拠など事柄同士の関係について理解することができる。言葉の意味を適切に理解し、筆者の論旨の読解に活かすことができる。			内容や構成、論理の展開についての的確にとらえ主張や主題・要点を理解することができる。状況に合わせた的確に伝わるように表現を工夫することができる。		各単元において、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤できる。			
各観点の授業内 評価方法等	定期考査					授業内での取り組み状況、課題の状況			
	課題の状況								
	※各観点における評価方法は、横断的に実施することがある。								
学期末の 各観点比率	50%			30%		20%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	1章 テーマ「内容説明問題」					3	中間考査	
		基本問題	「みんな違ってみんないい」のか？			山口裕之			
		練習問題1	うしろめたさの人類学			松村圭一郎			
		練習問題2	悲劇の世界遺産			井出 明			
	5	章末問題	民主主義の作り方			宇野重規			
		2章 テーマ「理由説明問題」							
		基本問題	文化的支配に抵抗する			中西新太郎			
		練習問題1	想像力の考古学			饗庭孝男			
	6	練習問題2	イメージの心理学			河合隼雄			
		章末問題	おんなの鬼			馬場あき子			
7									
	8								
	2	9	3章 テーマ「文学的文章」					5	中間考査
基本問題			完全な会話			山内三郷			
練習問題1			僕はかぐや姫			松村栄子			
練習問題2			紙／永遠の百合			吉原幸子			
10		章末問題	タダイマトピラ			村田紗耶香			
		11	4章～5章						
12									
	3	1	・ 適宜、模擬試験の解説や大学入試問題の解説をおこなう。 【アチーブ4】 1 評論 く弱さ〉に従う自由 鷲田 清一					5	学年末考査
2		2 評論 哲学も科学も寒くさめかな 池内 了 など ・ 要約作文指導							
3									

教科名		国語	科目名	古典探究	履修学年	中学・高校	2 年	1・2・3・6・7	組				
単位数		2	使用教科書 補助教材等	古典探究古文編／漢文編（筑摩書房） および課題ノート									
担当者		松永 航平		古文単語315（桐原書店） 漢文必携（桐原書店） その他、プリント・映像等、必要に応じた教材各種									
学習目標		・時代を超えて継承されてきた言語への共感をもち、言語を介した日本文化を体感すること。 ・現代における言語・文化のルーツにふれることで、対照的に現代の言語・文化を振り返ること。 ・高大接続をふまえた、十分な演習機会を得ること。											
評価方法													
評価観点		知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢						
評価規準		我が国の伝統的な言語文化の特徴的な語句・表現に親しみ、適切に理解し、使用している。 古典の文学世界に親しむために、作品や歴史的・文化的背景を適切に理解している。 模試や大学入試に十分対応できる知識・技能を有している。		「書くこと」：体験や共感、思考が読み手に伝わるよう、【知識・技能】で学んだ内容を適切に用いて工夫している。 「読むこと」：時代や国の枠組みにとらわれず、作品や文章の内容を適切に理解・対照し、我が国の言語文化について、自分の考えを示している。			【知識・技能】【思考・判断・表現】を身につけようとする中で、年度を通して自己調整に取り組んでいる。						
各観点の授業内 評価方法等		定期考査			①単元終了時の「研究課題」 ②振り返りシート等を用いた自己調整のモニタリング								
		平素の小テスト・課題・提出物等											
		到達度確認テスト											
		※各観点における評価方法は、横断的に実施することがある。											
学期末の 各観点比率(%)		40%		40%			20%						
授業計画													
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等						時間 数	評価 区分 1	評価 区分 2			
1	4	オリエンテーション （古文・説話）宇治拾遺物語二編（×夏目漱石「夢十夜」） （漢文・故事寓話）故事・寓話		（知識・技能） 敬語法基礎		（教養・古典常識） 宗教観・哲学的視点		4	中間 考査	敬語・助動詞・助詞基礎／重要句法 古典読解スキル			
	5	「知音」「曳尾塗中」「先従隗始」		再読文字・可能・使役・抑揚・反語・否定 等				6					
				+α				9					
	6	（古文・物語） 源氏物語「光源氏の誕生」～「若紫との出会い」 （漢文・詩） 長恨歌 ○研究課題①		+α 二方向敬語・二重敬語 漢詩関連		宮中について		5 5					
		7	期末考査						11				
	8												
	2	9	到達度確認テスト①						2 3 3		中間 考査	敬語・助動詞・助詞基礎／重要句法 古典読解スキル	
			（古文・軍記） 平家物語「能登殿の最期」 （漢文・史伝）		（知識・技能） 音読・音便		（教養・古典常識） 「中世」と「武士」 神聖性とレガリア						
史記「四面楚歌」 （古文・随筆）方丈記			+α 反語 等 方位・時刻・季節		古代中国概要								
10				+α		平安京と古代の世界観		9	期末 考査				
		（古文・日記） 蜻蛉日記「嘆きつつ」 （古文・和歌） 伊勢物語・大和物語		+α +α		恋愛・結婚 和歌修辞・心情読解		4 8					
		○研究課題①						11					
12													
3		1	到達度確認テスト②							4 5	学年 末 考 査		
			（古文・歴史物語） 大鏡「菅公配流」 （漢文・思想）		+α		修学旅行事前学習も兼ねる						
	諸子 ○研究課題③		+α										
			学年末考査				11						
	3	※単元・作品に応じて、+αの教材を用いて、演習・複数テキスト学習を行う。 ※到達度・進捗状況等により、教材・取り扱う内容の変更の可能性がある。						51時間±α					

教科名	国語	科目名	総合国語古典	履修学年	中学・ 高校	2 年	1・3・6	組	
単位数	1	使用教科書 補助教材等	古典探究古文編／漢文編（筑摩書房） および課題ノート						
担当者	山本 宏樹		古文単語315（桐原書店） 漢文必携（桐原書店） その他、プリント・映像等、必要に応じた教材各種						
学習目標	・「古典探究」の学習目標をベースに、高大接続に向けた十分な学力を培うこと。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	「古典探究」で扱われる古典作品の文法や古典知識を学ぶことを通して、模試・共通テスト・各大学入試の出題に十分対応できる知識・技能を有している。		古典作品を深く読解し、読解内容等について説明することについて、模試・共通テスト・各大学入試の出題に十分対応できる思考力・判断力・表現力に達している。			【知識・技能】【思考・判断・表現】を身につけようとする中で、年度を通して自己調整に取り組んでいる。			
各観点の授業内 評価方法等	平素の小テスト・課題・提出物等					授業内の演習に取り組む姿勢・各種提出物の状況			
	※各観点における評価方法は、横断的に実施することがある。								
学期末の 各観点比率(%)	40%		40%			20%			
授業計画									
学 期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時 間 数	評 価 区 分 1	評 価 区 分 2
1	4	高1 古文法復習 （古文・説話）宇治拾遺物語二編 （漢文・故事寓話）故事・寓話		助動詞の識別 敬語法基礎		宗教観・哲学的視点	1 2	中 間 考 査	敬 語 ・ 助 動 詞 ・ 助 詞 基 礎 ／ 重 要 句 法 古 典 読 解 ス キ ル
	5	「知音」「曳尾塗中」「先從隗始」		句法基礎			1～2		
	6	（古文・物語） 源氏物語「光源氏の誕生」～「若紫との出会い」 （漢文・詩） 長恨歌		二方向敬語・二重敬語 漢詩関連		宮中について	3 3		
		7						6	
	8								
2	9	到達度確認テスト① （古文・軍記） 平家物語「能登殿の最期」 （漢文・史伝）		（知識・技能） 音便		（教養・古典常識） 「中世」と「武士」	2	中 間 考 査	敬 語 ・ 助 動 詞 ・ 助 詞 基 礎 ／ 重 要 句 法 古 典 読 解 ス キ ル
	10	史記「四面楚歌」 （古文・随筆）方丈記		反語 等 方位・時刻・季節		古代中国概要	1～2 1		
		11	（古文・日記） 蜻蛉日記「嘆きつつ」 （古文・和歌） 伊勢物語・大和物語				恋愛・結婚 和歌修辞・心情読解	3 3	
	12		古文法復習		助動詞・敬語			6 1	
	3	1	到達度確認テスト② （古文・歴史物語） 大鏡「菅公配流」 （漢文・思想）		敬語発展		修学旅行事前学習も兼ねる	2	
2		諸子 ○研究課題③		訓読発展			2		
							4		
3		※単元・作品に応じて、+αの教材を用いて、演習・複数テキスト学習を行う。 ※到達度・進捗状況等により、教材・取り扱う内容の変更の可能性がある。							
							25時間±α		

教科名	国語	科目名	総合国語	履修学年	中学・高校	2 年	4 ・ 5 ・ 8 ・ 9	組			
単位数	2	使用教科書 補助教材等		古典探究古文編／漢文編（筑摩書房） および課題ノート							
担当者	栗原 緑 隠田 優代			古文単語315（桐原書店） 漢文必携（桐原書店） その他、プリント・映像等、必要に応じた教材各種							
学習目標	・ 時代を超えて継承されてきた言語への共感をもち、言語を介した日本文化を体感すること。 ・ 現代における言語・文化のルーツにふれることで、対照的に現代の言語・文化を振り返ること。 ・ 高大接続をふまえた、十分な演習機会を得ること。										
評価方法											
評価観点	知識・技能			思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む姿勢					
評価規準	我が国の伝統的な言語文化の特徴的な語句・表現に親しみ、適切に理解し、使用している。 古典の文学世界に親しむために、作品や歴史的・文化的背景を適切に理解している。 模試や大学入試に十分対応できる知識・技能を有している。			「書くこと」：体験や共感、思考が読み手に伝わるよう、【知識・技能】で学んだ内容を適切に用いて工夫している。 「読むこと」：時代や国の枠組みにとられず、作品や文章の内容を適切に理解・対照し、我が国の言語文化について、自分の考えを示している。		【知識・技能】【思考・判断・表現】を身につけようとする中で、年度を通して自己調整に取り組んでいる。					
各観点の授業内 評価方法等	定期考査					単元終了時の「研究課題」					
	小テスト・課題・提出物等										
	※各観点における評価方法は、横断的に実施することがある。										
学期末の 各観点比率(%)	40%			40%		20%					
授業計画											
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2		
1	4	（古文・説話） 古今著聞集「刑部卿敦兼の北の方」 （漢文・思想） 韓非子「守業」			＋α	（知識・技能） 語彙・文法振り返り・和歌	（教養・古典常識） 平安貴族の結婚・芸能	5	中間 考査		
	5	○研究課題①			＋α	二重否定・比較・不可能 等	春秋・戦国時代①	7			
							12				
	6	（古文・随筆） 徒然草「大事を思ひ立たむ人は」 （漢文・故事寓話） 戦国策「先従隗始」 ○研究課題②			＋α	反語 再読・反語・抑揚・受身 等	平安時代の宗教 春秋・戦国時代②	2 8 2	期末 考査		
		7	期末考査								10
	8										
2	9	（古文・随筆） 枕草子「すさまじきもの」 （漢文・史伝）			＋α	（知識・技能） 敬語	（教養・古典常識） 季節・除目	5	中間 考査		
		10	史記「四面楚歌」 ○研究課題③			＋α	反語 等	歴史書 秦～漢楚の争い			3 8
	11		（古文・物語） 源氏物語「若紫の君」 （漢文・小説） 西京雜記「王昭君」 ○研究課題④			＋α ＋α	文法振り返り 部分否定・漢詩 等	平安貴族の恋愛 漢の時代			4 8 12
		12									
	3	1	（古文・歴史物語） 大鏡「菅公配流」 修学旅行事前学習も兼ねる					4	学年 末 考 査		
		2	○研究課題⑤					6			
学年末考査					10						
	3	※単元・作品に応じて、＋αの教材を用いて、演習・複数テキスト学習を行う。 ※到達度・進捗状況等により、教材・取り扱う内容の変更の可能性がある。									
							52時間±α				